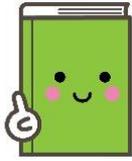


～びぶりおてーく～

*bibliothèque(ビブリアテーク)とはフランス語で図書館のこと



図書委員会役員が紹介する 私のおすすめ本

コーナー
あります

委員長 3年

夏木志朋 著 『 Nの逸脱 』 ポプラ社

この本は短編集で3つの話が入っていて、その中の『場違いな客』という話を紹介します。主人公の篤は爬虫類専門ショップのアルバイト店員です。売れ残っているフトアゴヒゲトカゲが殺処分される前に自分で買い取りたかったのですが、金額的に無理でした。ある日、怪しいサラリーマンが来店し、トカゲの飼育用のライトだけを買っていきました。男の目的が大麻を育てることだと思った篤は男から金を取ろうと思いついて後を追いましたが、逆に捕まってしまいました。このあと篤がどうなったか気になる人は、この本を手にとってみてください。



副委員長 3年

日丸屋秀和 著 『 ヘタリア 』 幻冬舎

擬人化された国たちによる、歴史や国民あるあるが詰まったコメディ漫画『ヘタリア』。あまりにヘタレなイタリア君をメインに、枢軸同盟のドイツさんや日本さん。その三国に対抗するべく集まったあまりにもまとまらない連合国の五カ国達。そんな個性の強い彼らが、仲良くしたり喧嘩したりしている作品です。かわいらしい作風に癒されつつ歴史や国の文化がわかるような気がしてくるので、歴史や国に少しでも興味のある人は手に取ってみてください。



副委員長 2年

村上春樹 著 佐々木マキ 絵 『 ふしぎな図書館 』 講談社

図書館で「オスマントルコ帝国の税金のあつめ方について知りたいんです」と尋ねるべくに老人の目がきらりと光った。案内された地下の閲覧室、階段をおりた奥から羊男が現れて、はたしてぼくは図書館から脱出できるのか。

物語の中にはいろいろな伏線が張られています。透けている少女だったり、家で飼っているムクドリだったり、全ての伏線が回収されると色々な考察ができて面白いです。この本を読んで自分の中に新しい考え方や新しい物事の見方が生まれました。この物語の男の子のように怖がらずに自分も挑戦していきたいと思いました。



副委員長 1年

宮田俊哉 著 『境界のメロディ』 KADOKAWA

メジャーデビュー目前にして相棒のカイを事故で亡くしたキョウスケは、音楽から距離を置き無気力に生きていた。しかし事故から3年、突然カイが生前と変わらぬ姿でキョウスケの前に現れる。キョウスケはカイに説得され再び音楽と向き合い、共に音を重ねる喜びを感じる。しかし、そんな幸せな時間は永遠ではなかった…という話です。高校時代の話などもあり、2人が、がむしゃらに音楽に向き合っているところや、相棒に後押しされてキョウスケが頑張る姿は、何度読んでも感動します。ぜひ読んでみてください。



書記 2年

梶井基次郎 著 げみ 絵 『檸檬 (乙女の本棚シリーズ)』 立東舎

私のおすすめの本『檸檬』という本です。見た目は絵本のようなのですが、開いてみるとなんと小説になっています。しかし小説といっても文が長々と続いているのではなく、見開きの片方には挿絵があるので飽きずに読むことができます。挿絵も高名なイラストレーターが描いた素晴らしい絵なので、ずっと見ていられます。しかし文章には漢字が多いです。勉強がてら、調べながら読むのがよいと思います。

私のような小説を読むのが苦手な人や素晴らしいイラストを見てみたいなど、少しでも興味が湧いた人は手にとって読んでみてください！



書記 1年

松村涼哉 著 『少年殉教者』 KADOKAWA

「オレはルールの中で死んでいく」人気絶頂のなか謎のメッセージを残し自殺したと思われる俳優S I N。しかし主人公の永歌は偶然S I Nと思しき者の殺害現場を動画におさめてしまう。それを見た翔という少年と一緒にS I Nの死の謎に迫るミステリー小説です。ネットに書かれた3つの手がかり全てを見つけ出し、S I Nが言っていたルールにたどり着くことができるのか。S I Nの過去、二人の運命、色々なことが明かされていきます。面白いのでぜひ読んでみてください。



* 詳細は図書館まで

県立図書館夏休み高校生ボランティア参加者募集中！

活動期間	令和7年7月30日(水)~8月1日(金)
活動内容	☆ 図書資料の配架・整理 ☆ 事務補助作業
	☆ ビブリオバトル体験会・POP作成
	☆ ボランティア体験記集の作成
募集期間	令和7年5月23日(金)~6月19日(木)

募集人数
18名程度